

町田通勤寮だより

NO 88
2021年9月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

寮長 三階 広明

法人としての喫緊の課題は「人材育成」です。今更？今頃？と言われそうですが、幹部職員の退職（定年）が迫ってきた現在（私自身も対象者です）、法人全体の事業運営の方向性とも関連づけて以前より検討しています。

通勤寮としては「建替え」（十年後には完了しないといけない課題です。）が大きな課題ですが、法人全体を見れば課題はそれだけではありません。法人全体の財務状況を判断しながら財源を確保していくことが求められています。合わせて「配置基準」に示されている人材の育成・確保が求められます。これまで計画的に進めてきたつもりですが、様々な要因から結果としては不十分な現状となっています。一朝一夕には解決しないのが「人材育成」ですが、最大限の努力をしていきたいと考えています。

話は変わりますが、コロナ禍の中で開催されたオリンピック・パラリンピックが終了しました。どちらも獲得したメダルの「数」と「色」が前面に出た報道が多かったですが、皆さんはどう「感じた」でしょうか。努力の結果としての順位は一つの目安であると思いますが、そこだけに焦点が当てられてしまうのはいかがなものでしょう。個人的には少し違和感を持ちます。

「結果は大事だけど、そのプロセスがもつと大切」だとよく言われます。競技である以上結果を求めるのは当然ですが、それに当事者でなく周りの人々が一喜一憂してしまうのは、『スポーツ』の本質とはいささか異なる部分があるのではないのでしょうか。

利用者支援においても「結果」はある程度求めざるを得ませんが、「プロセス」特に利用者本人の取組の過程（努力）を評価することが大切だと考えています。結果にだけ気を取られずに評価していけるようにしていきたいと感じています。

「新型コロナ」が叫ばれて一年半が過ぎようとしています。アプタ「コロナ」から「ウィズコロナ」新たな日常」という事が、当たり前のように言われています。これからの『日常生活』はどのように変わっていくのでしょうか。

まだまだ「安心」できる状況にはありませんが、皆様もご自愛ください。最後になりましたが、この「通勤寮だより」は9月号です。私が原稿を書くのが遅れてしまいこんな時期になってしまいました。申し訳ありません。

性講座（女性）

主任支援員 武智 里峰

7月24日、女性2名ですが性講座を実施しました。

内容は、今回は異性の事以前に、まずは自分（女性）の身体を知りましょ

う…というところから入りました。

題して『自分の身体を知ろう』

年齢に応じた心と身体の成長について、幼児期―児童期―思春期に分け、どのように成長して来たのか？をお話ししました。『発育発達論』

特にお2人が反応したのは、思春期の話から子宮の話をした際、女性特有の病気について質問がありました。まさか、子宮がんや乳がんの質問が来るとは…とかなり驚きました。

検査の仕方、市から検診の案内、自分が検査した体験等話し、自分の身体を守っていくためには、どうしたら良いか？

今回のテーマから少しだけ外れてしまったかもしれませんが、お2人の気付き…には、関心してしまつたと同時に、自分自身も、女性の身体についてもっと知識を身に付けておかなければ…と反省。年頃の女性として、障がいを持つている、持っていないは関係なく、1人の女性という意識が高いのだと発見できた講座でもありました。

性講座は、1回で終わらず、回数を重ねて開催を考えています。

何に興味があり、何を知りたいのか、相談しながら一緒に考えて行ければと思っています。

性講座(男性)

副主任支援員 川瀬 朝日

8月22日、食堂にて、男性利用者さんを対象として、性講座を行いました。今回のテーマとしては、人間関係と性暴力についてでした。丁度、オリンピック・パラリンピックの開催時期で、開会式の楽曲担当をしたミュージシャンが、過去に知的障がいを持つ方への「いじめ自慢」の雑誌のインタビュー記事が取りざたされ、大きな波紋を呼んだ出来事があった頃です。その記事の中には、今回の講座にも繋がる、悪質ないじめの内容も有りました。講座では、人間は対等な関係である事。対等な関係でなくな

る時に、相手の弱みに付け込んだり、性暴力に発展しやすい事、自分の気持ちも相手の気持ちも同じく尊重されるべきものであるという内容を心に進めていきました。また、昨今、SNSを介しての事件も度々報道されていますが、実際に、近い事例を出して、みなさんにどうすればよかつたのか考えて頂きました。

事例の大まかな概要は、SNSで同じ趣味の女の子と仲良くなり、会う事になった。会ってみたら実際にはおじさんで、無理やり車に乗せられそうになった。というものです。参加した方からは、事前に大人に相談をすればよかつた、SNSのやり方について、自分で判断せず、信頼できる人と一緒に考えればよかつた。という意見が挙がりました。このことから、事前に、報告・連絡・相談すること、未然に防げることがある事を皆さんと共有できたかなと思います。

自分の気持ちも相手の気持ちも同じく尊重されるべきものである。このことは、社会の様々な場面で言えることですが、今回、私を含め、皆さんと学ぶ機会になってよかつたと考えています。

身だしなみ講座

支援員 浅田 恵理子

今回は①歯ブラシの寿命②歯磨き粉の使用期限③洗濯物についての3点を取り上げました。

歯ブラシは意外と寿命が短く1ヶ月が交換の目安となりますが、先が広がってから交換していたという方が一番多く、広がらないからずっと使えると思っていた方や自分で調べて適宜交換していた方もいました。歯磨き粉は未開封だと3年は持ちますが、開封後は6ヵ月となりますが、箱や本体に製造年月日を書いてあること、開けたら半年目安に使用を中止し使い切れない場合はシンクやお風呂掃除等で使える事を勉強しました。

洗濯物の表示の見方を資料でお渡しし、「こういうのが知りたかった」とのお声も多数ありました。おうちクリーニング用の洗剤で洗える事等を勉強しました。また、お布団は何処で洗ったらいいですか？との質問も有り、コインランドリーで洗えることを知るととても感動されていました。

身近すぎてあまり気にならないことかもしれませんが、目安を過ぎての使用は衛生面でも良くないので、意識するようお話ししました。講座終了後に歯ブラシや歯磨き粉を購入し、また歯ブラシに日付を書いたとの報告も有り、とても嬉しく思いました。

また身近な事をテーマに、講座を行う予定です。

調理実習

8月8日に調理実習を行いました。

調理員 高橋典子

「暑さに勝つ スタミナ料理」と題して、サムゲタン・チヂミ・豆腐の韓国風サラダの3品を作りました。

サムゲタンは、寒い季節の食べ物というイメージがありますが、栄養豊富であり韓国では、夏のスタミナ食といわれています。この暑さを乗りきる為に、滋養強壮効果を期待して作りました。今回は、前回も参加された5名の方が再度参加していただけました。今回も調理員2名で対応しました。皆さん2回目とは思えない程、手際よく良く野菜の千切り等、上手に包丁が使えました。又、サラダに使用する野菜は、手でちぎったりヘラで叩く等、包丁を使わなくても調理出来る事を学んでもらいました。サムゲタンは、数種類の調味料を計量しましたが、計量カップや計量スプーンを楽しみながら使って、お肉もコトコトとアクを取りながら柔らかく煮れました。チヂミを焼くのは、1人1枚づつ各自で焼きました。密を避ける為に、カセットコンロも2つ使用して作りました。

コロナ禍なので1テーブル1人づつ座って食べましたが、無言でもほのぼのとした雰囲気達成感を感じながら美味しく食べてみえました。

今回の調理実習は、10月に「秋に楽しむ旬の味覚 旬の食材を使った料理」と題して、行う予定です。皆様のご参加お待ちしております。



完成です!!



切ったり、焼いたり・・・

行事食 紹介



8月・麺メニュー

土用の丑の日

7月・麺メニュー

今後の主な予定

11月14日(日) 保護者会 (状況により変更することがあります)

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。



お誕生日プレート



沖縄メニュー